



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月26日

上場会社名 株式会社ブルボン

上場取引所 東

コード番号 2208 URL <http://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,822	5.2	1,116	△2.9	1,155	50.2	779	△8.6
29年3月期第1四半期	26,437	5.0	1,149	57.8	769	△5.9	852	55.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,019百万円 (△21.7%) 29年3月期第1四半期 1,301百万円 (37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	32.43	ー
29年3月期第1四半期	35.50	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	68,448	41,493	60.6	1,727.13
29年3月期	70,747	40,714	57.5	1,694.70

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 41,493百万円 29年3月期 40,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	9.00	ー	10.00	19.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,000	3.2	1,000	△18.7	1,000	23.5	700	△17.2	29.14
通期	117,000	3.6	4,900	1.9	5,000	7.1	3,400	△6.9	141.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	27,700,000株	29年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,675,490株	29年3月期	3,675,457株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	24,024,529株	29年3月期1Q	24,024,825株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な保護主義傾向の広がりがあったものの、各種の政策効果や世界経済の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

菓子、飲料、食品業界は、健康志向商品や高付加価値商品へのニーズがある一方で、実質所得の伸び悩みや将来不安から、消費者の節約志向が続きました。

このような中、当社グループは一貫して、食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、女性の活躍推進や、単身・シニア世帯、共働き家庭の増加などによるニーズの変化等への対応により、消費者が求める価値の実現に機敏かつ柔軟に取り組み、きめ細かい店頭フォロー活動や地域のニーズに合わせた企画提案型の営業活動、品揃えの強化と付加価値を高めた魅力のある商品開発を通して、お客様の満足につながる活動を推進してまいりました。

その結果、ビスケット品目、キャンデー品目、飲料品目などが伸張し売上高は前年同期を上回りました。また、利益面では、売上高の伸張とコスト削減、生産性の向上、経費の効率的な使用などに取り組みました。販売費の増加などにより営業利益は前年同期に及ばなかったものの、為替差損の減少により経常利益は大きく伸張しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期の投資有価証券売却益の影響から下回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は26,253百万円(対前期比104.1%)となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

「ふんわりチョコケーキ」シリーズをはじめとして、冷やして食べる夏の食べ方提案を実施したほか、新茶の季節に合わせた抹茶フェア、爽やかな味わいのサマーフルーツフェア、塩で甘さを引き締めた夏塩フェアを展開しました。各フェア関連の商品にご好評をいただき、ファミリーサイズ商品群やマイベネフィット商品群などが伸張しました。加えて、「ルマンド」などの袋入りビスケットや箱入りビスケットのロングセラー商品ならびに半生商品群、焼菓子商品群も継続して好調な推移となりました。また、ジュワ〜っととろける新くちどけマシュマロ「とろマロライム味」を新たに発売しご好評をいただくとともに、「ミネラル塩飴」で熱中症予防声かけプロジェクトに継続して参加しました。さらに、「フェットチーネグミ」シリーズでは、「すいかソーダ味」やミニタイプを大袋に入れた「フェットチーネグミminiFS」、「バウンドロックグミ(コーラ味)」などを品揃えしご好評をいただきました。一方、スナック品目の「プチポテト」シリーズにおいては、プロ野球の球団とタイアップした商品を企画・展開するなど積極的な取り組みを行いました。チョコレート品目では、「アルフォートミニチョコレート」や「もちもちショコラ」などで「塩バニラ」の夏の味わい商品にご好評をいただきました。加えて、オイルinチョコレートのハイショコラボーテシリーズを展開している袋チョコレート商品群、品揃えを充実した板チョコレート商品群、チョコスナック商品群などがともに伸張しました。

ビスケット品目の他、チョコレート品目、スナック品目、キャンデー品目などが伸張したことから、品目全体でも前年同期を上回りました。

飲料・食品・その他の合計売上高は1,568百万円(対前期比129.1%)となりました。

飲料・食品品目は、保存缶商品の需要が落ち着いたものの、濃厚でまろやかな「おいしいココナッツミルク」が大きく伸張しました。加えて、「牛乳でおいしくつめたいココアボトル缶」も好調に推移しました。また、前期に「ホワイト」を発売し、品揃えを充実した「スライス生チョコレート」シリーズの拡販を図りました。機能性食品は、取り扱いの拡大により、栄養調整食品「スローバー」シリーズが好調に推移しました。以上により、品目全体では前年同期を上回りました。

前期に新規参入した冷菓は、「ルマンドアイス」の供給安定化と販売エリアの拡大に取り組みました。2017年5月に南九州地域での販売を開始し、同年7月に九州全域への展開を予定しています。

その他品目では、通信販売事業は、企画商品の展開や魅力的な品揃えの充実により、お客様の利便性と満足度の向上を図り、顧客の拡大とリピーターの増加に取り組みました。自動販売機事業は、多様な商品を取り扱うプチモールの設置環境の選択による効率性の向上に取り組んだほか、展開推進による台数の増加に伴って伸張しました。また、酒類販売事業は、クラフトビールへの関心が続くなか、新製品「FLYING IPA」を発売したことに加え、受託生産や輸出が好調に推移したことから前年同期を上回りました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27,822百万円（対前年同期比105.2%）、営業利益は1,116百万円（対前年同期比97.1%）、経常利益は1,155百万円（対前年同期比150.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は779百万円（対前年同期比91.4%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は31,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,672百万円減少となりました。これは主に、季節変動による受取手形及び売掛金の減少があったことによるものです。固定資産は37,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ373百万円増加となりました。これは主に、新潟工場等の設備投資により固定資産が増加したことによるものです。

この結果、総資産は68,448百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,298百万円減少となりました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は19,954百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,079百万円減少となりました。これは主に、季節変動による支払手形及び買掛金の減少と、法人税等の支払および賞与の支給があったことによるものです。固定負債は7,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加となりました。

この結果、負債合計は26,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,077百万円減少となりました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は41,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ779百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は60.6%（前連結会計年度末57.5%）となりました。

・連結キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は13,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,718百万円（前年同期599百万円の収入、対前年同期比286.6%）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,148百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,335百万円（前年同期224百万円の支出、対前年同期比594.2%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,329百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は352百万円（前年同期1,206百万円の支出、対前年同期比29.2%）となりました。これは主に、配当金の支払額233百万円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月27日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,857	12,876
受取手形及び売掛金	13,298	9,854
有価証券	139	145
商品及び製品	3,566	4,357
仕掛品	441	435
原材料及び貯蔵品	2,653	2,676
その他	946	882
貸倒引当金	△25	△23
流動資産合計	33,877	31,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,166	13,066
機械装置及び運搬具（純額）	8,956	8,723
その他（純額）	7,739	8,394
有形固定資産合計	29,862	30,184
無形固定資産		
のれん	1,434	1,405
その他	408	384
無形固定資産合計	1,843	1,790
投資その他の資産		
その他	5,166	5,270
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	5,164	5,268
固定資産合計	36,869	37,243
資産合計	70,747	68,448

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,343	9,782
短期借入金	1,649	1,599
未払法人税等	1,076	167
賞与引当金	1,070	477
返品引当金	35	41
その他	8,858	7,885
流動負債合計	23,033	19,954
固定負債		
役員退職慰労引当金	249	245
退職給付に係る負債	5,787	5,778
負ののれん	21	20
その他	941	955
固定負債合計	6,999	7,001
負債合計	30,033	26,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	34,026	34,565
自己株式	△941	△941
株主資本合計	40,912	41,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	582	690
為替換算調整勘定	△497	△401
退職給付に係る調整累計額	△282	△247
その他の包括利益累計額合計	△198	42
純資産合計	40,714	41,493
負債純資産合計	70,747	68,448

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）
売上高	26,437	27,822
売上原価	15,471	16,203
売上総利益	10,966	11,619
販売費及び一般管理費	9,816	10,502
営業利益	1,149	1,116
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	26	32
負ののれん償却額	0	0
その他	22	25
営業外収益合計	50	58
営業外費用		
支払利息	2	0
減価償却費	1	3
為替差損	424	13
その他	3	2
営業外費用合計	431	19
経常利益	769	1,155
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	602	—
特別利益合計	602	0
特別損失		
固定資産処分損	17	5
減損損失	28	1
投資有価証券評価損	3	0
その他	7	—
特別損失合計	56	7
税金等調整前四半期純利益	1,315	1,148
法人税、住民税及び事業税	207	129
法人税等調整額	254	240
法人税等合計	462	369
四半期純利益	852	779
親会社株主に帰属する四半期純利益	852	779

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
四半期純利益	852	779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	108
為替換算調整勘定	517	96
退職給付に係る調整額	37	35
その他の包括利益合計	448	240
四半期包括利益	1,301	1,019
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,301	1,019
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,315	1,148
減価償却費	811	868
のれん償却額	28	28
受取利息及び受取配当金	△27	△33
負ののれん償却額	△0	△0
支払利息	2	0
為替差損益 (△は益)	340	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△602	—
固定資産処分損益 (△は益)	17	5
減損損失	28	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	3,322	3,435
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△378	△813
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,050	△553
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△590	△592
その他	△1,609	△833
小計	1,609	2,661
利息及び配当金の受取額	29	33
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額	△1,037	△975
営業活動によるキャッシュ・フロー	599	1,718
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	483	0
有形固定資産の取得による支出	△1,171	△1,329
投資有価証券の取得による支出	△134	△3
投資有価証券の売却による収入	605	—
その他	△7	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224	△1,335
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△838	—
長期借入金の返済による支出	△50	△50
リース債務の返済による支出	△108	△68
配当金の支払額	△210	△233
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,206	△352
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△867	26
現金及び現金同等物の期首残高	14,596	12,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,728	13,022

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。